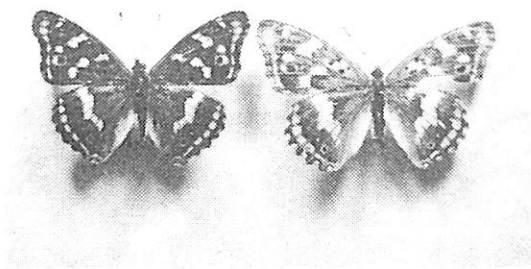


コムラサキ梢上を滑翔

谷川大海¹⁾

1993年6月6日、午後3時頃、洲本市池内の通称、白土山の池のほとりのコナラの葉上で、コムラサキが飛翔しているのを目撃する。30分後ネットを持って再び訪れて（めす）を1頭採集する。二日後午前11時頃、コムラサキが数頭飛翔しているところ、（おす）1頭採集する。紫の輝きの美しい、あまり痛んでいない個体だった。この2頭を採集したところは、池のほとりで、これらの池の周囲には幅の狭い葉の柳の木が数本、他にクヌギ、コナラなどの木々が生えておりそれらの木々の樹液にコムラサキ、ヒオドシチョウ、ヒカゲチョウ、アカタテハ、ルリタテハなどの蝶がきているのを数週間に渡って観察した。

又ここから、ほど遠くないところに、かなり広い林があり、この林には幅の広い葉の柳がかなりの数生えていて、これらの柳の梢上にもコムラサキが数十頭飛翔しているのを観察した。（残念ながらこの柳の同定はできず）。しかし、コムラサキの（おす）のテリトリー飛翔や、たぶん（めす）を求めて柳の木の葉上をかすめて飛翔するのを観察したが、（めす）が産卵行動している姿はまだ残念ながら目撃していない。したがってどの柳の木が食樹なのかもまだ特定できていない。しかしこの1ヶ月の観察からたぶんこれらのコムラサキは、この林の中で生息しているものであり、他から飛んできたのではないようである。まもなく第二化目も現れると思われるので、観察を続けようと思う。



コムラサキ

左が♂、1993年6月8日採集。右が♀、1993年6月6日採集。洲本市池内（通称白土山）



コナラで樹液を吸っているコムラサキ。

左が♀、右が♂。両方ともかなり傷んでいる。1993年6月22日午前11時頃。

（たにがわ だいかい）

¹⁾〒656 洲本市大野 1018-2